

## 戦間期②「大正時代の日本の政治と社会」

## 大正デモクラシーの時代 C

 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あ ヨーロッパで第一次世界大戦がおこったころ、日本は大正時代であった。い 本格的な政党内閣が組織されて、う 普通選挙法が定められたこの時代は、え さまざまな社会運動もさかんになった。また、お 都市の生活や社会のようすが大きく変化し、大衆の文化が発達した。

(1) 下線あのおこった次のできごとを、おこった順に左から並べ、記号で答えなさい。

- ア 日本がドイツに宣戦布告し、青島や南洋群島を占領する。  
イ 日本が中国に二十一か条の要求を示す。  
ウ 富山県で米騒動がおこる。

→                  →

[1]

(2) 下線いについて、1918年に内閣総理大臣となった人物の名を答えなさい。

[2]

(3) 下線うによって、どのような人に選挙権があたえられたか。年齢・性別の点、および、それまでの条件から変更になった点がわかるように答えなさい。

[3]

(4) 下線えについて、右の資料は、ある団体が設立された際に出された宣言の一部である。あてはまる団体を次から1つ選び、記号で答えなさい。

全国に散在する部落の人々よ、  
団結せよ。…(略)…人の世に  
熱あれ、人間に光あれ。

- ア 日本労働総同盟      イ 青鞥社  
ウ 日本農民組合      エ 全国水平社

[4]

(5) 下線おに関して、大正時代のころのようすについて述べた文として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ラジオ放送が開始され、一般の家庭にラジオが普及していった。  
イ 住宅の一部に西洋間を設けるなど欧米風の建築が流行した。  
ウ 東京（新橋）と神戸の間の鉄道が全通した。  
エ バスガールや電話交換手などとなって働く女性が増加した。

[5]